

純名里沙さんら来島取材

トラスト地、首都圏発信

瀬戸内町

奄美大島の森林保護を目的に、瀬戸内町の民有林への寄付を募っている公益社団法人日本ナショナル・トラス

ト協会（東京）の関健志事務局長らが7日、来島した。8日は女優の純名里沙さんとFMラジオ局の番組取材で同町で取得した土地を訪れ、房克臣町長を表敬訪問した。

同協会は国の特別天然記念物アマミノクロウサギなど希少で固有の野生動植物が生息する同島の環境を乱開発から守ろうと、同町の民有地約100軒を取得。全国からの寄付を募る「アマミノクロウサギ・トラスト・キャンペーン」を3月に開始した。



本土の大手企業や個人を中心に寄付の申請があり、8日までに目標2000万円に対して約1300万円の支援が決まった。

8日はFMラジオ局J-WAVE（東京都）の環境番組「BLUE PLANET」の取材で現地を訪れた日本ナショナル・トラスト協会の関健志事務局長（左）と純名里沙さん（右）と話をした。

純名さんが奄美の自然や音楽などとともに、同キャンペーンについて紹介する「BLUE PLANET」は5月6日午後6時〜7時55分に首都圏で放送予定。